

国際共同研究 in タイ

1月11日(日)~18日(日)でタイにある princess chulabhorn science high school pathum Tnani (チュラポーン王女サイエンスハイスクール) に本校生徒が訪問しました。日本側は立命館慶祥中学校・高等学校、札幌旭丘高等学校、国際基督教大学高等学校と本校の計4校で向かいました。

事前にオンラインで研究テーマの決定、メンバーの交流を済ませてはいたものの直接会うのはこの機会が初めて。お互い初めは緊張しながらも徐々に打ち解けあい、初日の終わりころには楽しく話している様子が見えました。現地校滞在中は参加生徒は現地校生徒がバディとなり研究のみならず移動や休み時間も共にします。

< 現地校の様子 >



< 共同研究の様子 >



中間ミーティングでは滞在後半がさらによくなるように何をどうすればいいかを話し合いました。その中でも多く挙げられたのは「言語の壁」でした。現地校生徒の会話についていけないこと、会話が繋がらないこと、そして言いたいことを英語で表せないこと。非常にもどかしい気持ちを抱えている状況でした。しかし、その後どのように動けばその壁を乗り越えられるかについても話し合いました。

最終日にはプレゼンがありました。どのグループも自分たちが設定したテーマに関して行った実験や検証について論理的にまとめられていました。プレゼン後には日本、タイ両国の先生方から質問や助言をもらい、今後の実験にもつなげられることを期待しています。